

別紙の譜例、弦楽合奏のための作品（グリーグ作曲《ホルベルク組曲》より〈II. サラバンド〉）を見て、以下の問いに答えなさい。（なお譜例は試験問題に適するよう、記号の省略や段数の変更ほか、原譜より一部変更している。）

1. ①から⑤の四角で囲まれた音を同時に鳴らした時の和音の種類（例：「長三和音」等）と転回形（例：「基本形」「第1転回形」等）を答えなさい。

2. (a) から (e) の音程を答えなさい。ただし、複音程は単音程に直して答えること。

3. (a) から (e) の音程（単音程）の転回音程を、(f) から (j) の中から選んで記号で答えなさい。

4. この曲の冒頭の $\square$ に記すテンポ表記として適切なものを以下から選び記号で答えなさい。

(1) Vivace	(2) Allegro	(3) Andante	(4) a tempo	(5) Tempo di Marcia
------------	-------------	-------------	-------------	---------------------

5. 13小節目から16小節目までのチェロの上声部（Soloのパート）を、

①テノール譜表上に書き改めなさい（なお、調号は書き入れ、スラー、強弱記号、アクセントなどは省略して書くこと）。

②増4度低く移調した楽譜を、調号を用いず臨時記号を用いて低音部譜表上に書きなさい（なお、スラー、強弱記号、アクセントなどは省略して書くこと）。

6. この作品の作曲者であるグリーグが生まれた国と、彼が作曲した曲を以下からそれぞれ選んで答えなさい。

国	(1) デンマーク (2) スウェーデン (3) フィンランド (4) ノルウェー
曲名	(1) 『フィンランディア』 (2) 『死の舞踏』 (3) 『ペールギュント』 (4) 『夏の夜の夢』

7. 譜例の $\otimes$  $\oplus$  $\odot$ について、それぞれ何調と考えられるか、日本語で答えなさい。

また、冒頭の調からみた $\otimes$  $\oplus$  $\odot$ それぞれの関係調（「属調」等）を答えなさい。いくつかの調を経由する場合は最短で答えること。

8.  $\square$ の異名同音を主音とする和声短音階の上行形をソプラノ譜表上に臨時記号を用いて主音から主音まで全音符で書きなさい。

9. ⑥の和音をII度の和音とする調の属調の同主調の音階の上行形を、アルト譜表上に臨時記号を用いて主音から主音まで全音符で書きなさい。なお、解答が短音階の場合には旋律短音階で答えること。

[問題ここまで]

[譜例]

(注) コントラバスの音は、書かれている音よりも1オクターブ低く鳴ります。

あ (♩=42)

Violino I

Violino II

Viola

Violoncello

Contrabbasso

6

Un poco mosso

Vn. I

Vn. II

Va

Vc.

Cb

11

Vn. I

Vn. II

Va

Vc.

Cb

16

Vn. I

Vn. II

Va

Vc.

Cb

X

Y

Z